

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	戸田市の住みよい環境整備												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	戸田市												
計画の目標	下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する、また施設の長寿命化計画を策定して施設の延命化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,180	A	3,180	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道整備普及率を88%(H27)から93%(H31)に増加させる。 下水道普及率 下水道を整備した面積(ha) / 計画面積1,315(ha)	88%	91%	93%
2	下戸田ポンプ場の長寿命化対策(施設)実施率を0%(H27)から100%(H30)に増加させる。 下戸田ポンプ場長寿命化 長寿命化した施設数(点) / 長寿命化必要な施設数 29(点)	0%	86%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	管渠(汚水)	新設	南部第11-3処理分区汚水整備事業	L=9.1km	戸田市						1,329		-	
	A07-002	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	ポンプ場	改築	下戸田ポンプ場長寿命化事業	ポンプ施設の長寿命化対策工事		戸田市						970		策定済
	A07-003	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	管渠(汚水)	新設	南部第21処理分区汚水整備事業	L=3.5km	戸田市							451		-
	A07-004	下水道	一般	戸田市	直接	戸田市	管渠(汚水)	新設	南部第22処理分区汚水整備事業	L=3.3km	戸田市							430		-
												小計						3,180		
												合計						3,180		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
水安全部内で評価を作成した。なお、透明性及び客観性を確保するため、学識経験者や市民により構成された「戸田市上下水道事業経営審議会」において、目標の達成状況や今後の方針等を報告し、意見を伺った。	令和3年10月
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道整備普及率が88.92%から92.90%に増加し、概ね目標どおり未普及地域の解消を進めることができた。</li> <li>・事故の未然防止やライフサイクルコストの最小化を図るため、長寿命化計画に基づく対象施設の長寿命化を実施することができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全を図るため、次期（R2年度からR6年度まで）社会資本総合整備計画においても引き続き公共下水道の整備を行い、下水道の普及促進に努める。なお、今回の整備における未達成面積は、今後の整備計画で将来的に整備を行っていく。</li> <li>・下水道施設の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図るため、施設の適切な維持管理を行っていく。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	計画に対し下水道を整備した面積の割合	
	最終目標値	93%
	最終実績値	92%
2	計画に対し長寿命化した施設数の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

